

決算書のみかた

令和6年度 下水道事業会計
長与町 水道局



いいな・まこ先生



じーくちゃん



かっきー



オリーブちゃん

下水道事業の決算書について、
ぼくたちが説明するよ！！



長与町マスコットキャラクター ミックン

目次

- P1 決算書ってなに？
- P2～ 損益計算書とは
- P4 減価償却費と長期前受金
- P5 資本的収支とは
- P6 補てん財源について
- P7～ 貸借対照表とは
- P9 キャッシュフロー計算書
- P11～ 下水道事業の概況について

1 決算書ってなに？

決算書とは、4月1日から翌年の3月31日までの1年間の経営成績と財政状況についてみなさんに報告するものです。長与町では昭和52年より公営企業会計を導入しており、公営企業会計は民間企業と同じように複式簿記を使って記帳を行います。

決算書は、損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書などの決算書類で報告しています。



決算は、1年間に入ったお金（収入）と、出て行ったお金（支出）などをまとめて報告するものよ。

やっぱり入ったお金（収入）が多いほうがいいのか？



そうね。入ったお金と出て行ったお金を比べたのが損益計算書よ。
次のページから解説するね。

2 損益計算書とは

損益計算書とは、1年間の収入（収益）と支出（費用）を表示したものです。

これによりどういう経営活動で、どれだけの経営成績を上げたのかを知ることができます。

令和6年度長与町下水道事業損益計算書 (令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)			
	円	円	円
1 営業収益			
(1) 下水道使用料	590,460,620		
(2) その他営業収益	<u>4,732,054</u>	595,192,674	
2 営業費用			
(1) 管渠費	60,424,953		
(2) 処理場費	236,483,358		
(3) 業務費	24,284,768		
(4) 総係費	35,456,709		
(5) 減価償却費	465,671,129		
(6) 資産減耗費	<u>7,197,851</u>	<u>829,518,768</u>	
営業損失			234,326,094

「下水道使用料」はみんなが払ったお金だね。営業費用の方が大きいみたいだけど、大丈夫なのかな？



営業収益と営業費用の差は「営業利益（損失）」というのよ。これは通常の業務活動の損益の結果を表すの。収益と費用は、業務活動以外のものもあるのよ。

	円	円	円
3 営業外収益			
(1) 受取利息及び配当金	779,281		
(2) 他会計負担金	100,000,000		
(3) 長期前受金戻入	227,834,773		
(4) 雑収益	<u>27,253</u>	328,641,307	
4 営業外費用			
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	33,140,221		
(2) 雑支出	<u>6,245,628</u>	<u>39,385,849</u>	<u>289,255,458</u>
経常利益			54,929,364
5 特別利益			
(1) 過年度損益修正益	<u>131,769</u>	131,769	
6 特別損失			
(1) 過年度損益修正損	<u>307,080</u>	<u>307,080</u>	<u>△ 175,311</u>
当年度純利益			54,754,053
当年度未処分利益剰余金			<u>54,754,053</u>



通常の業務活動に加えて、資金調達等に関する損益の結果を表すものが、「経常利益（損失）」というの。

1年間のすべての損益の結果は収益の方が多かったから、「当年度純利益」として最後の方に表示されているんだね。



前のページの営業費用に出てきた「減価償却費」や、営業外収益に出てきた「長期前受金戻入」ってなんのことなのかな？



3 減価償却費と長期前受金

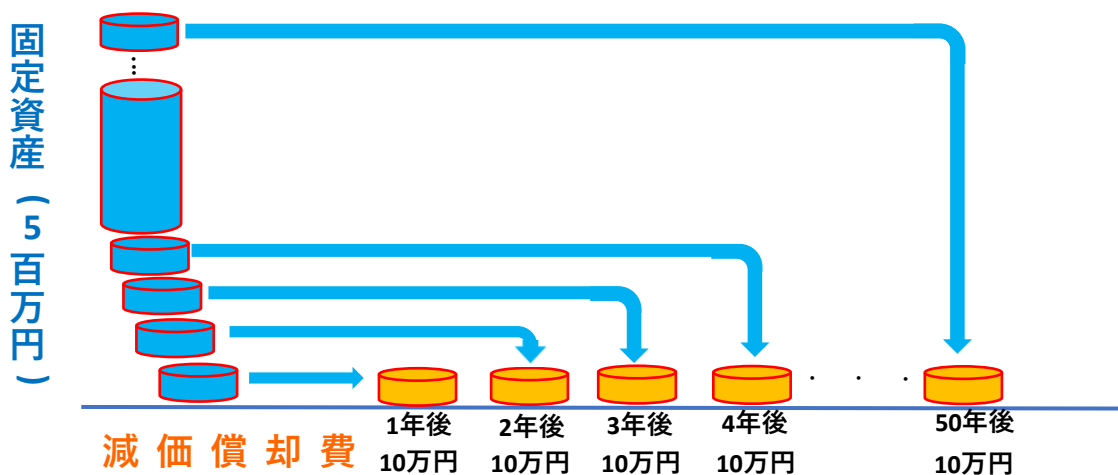
減価償却費は、資産は時間が経つにつれ、価値が減っていくという考えによって、資産価値の減った分を費用として計上するものです。



損益計算書では、1年間にかかった費用だけを載せる決まりがあるのよ。

でも、下水道管などの施設は何十年と使えるよね。だから、作った年に全額を費用とするのではなく、使える年数で少しずつ費用とするのよ。

50年使える下水道管を500万円で建設して、1年で10万円ずつ減価償却すると・・・



建設した年に沢山のお金を払ってるけど、50年かけて少しずつ損益計算書に計上するのね。



「長期前受金戻入」はこの考え方の収益バージョンね。今後何十年と使用する下水道施設のために、国から補助金をもらったり、建設費の一部を町民の方に負担してもらうことがあるの。そのお金も施設が使える年数で少しずつ収益として扱うのよ。

損益計算書は1年間にかかった費用、入った収入を載せるのかあ。その他のお金の出入りはあるのかな？



4 資本的収支とは

損益計算書に登場する収入、支出を収益的収支と呼ぶのに対し、施設の建設費などの損益計算書には載っていない収入と支出のことを資本的収支と呼びます。資本的収入には企業債（お金の借入）や国の補助金のほかに、新しく下水道を整備した地区に土地を所有する人から建設費の一部を負担いただく「受益者負担金」などがあります。資本的支出には施設や管をつくったり、更新したりするための「建設改良費」などがあります。

(2) 資本的収入及び支出

収 入

区 分	予 算 額						決 算 額
	当初予算額	補正予算額	小 計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額に係る財源充当額	継続費通次繰越額に係る財源充当額	合 計	
第1款	円	円	円	円	円	円	円
資本的収入	539,927,000	0	539,927,000	20,800,000	0	560,727,000	170,070,428
第1項 企業債	294,600,000	0	294,600,000	11,800,000	0	306,400,000	106,600,000
第2項 国庫補助金	243,000,000	0	243,000,000	9,000,000	0	252,000,000	62,243,000
第3項 受益者負担金	2,327,000	0	2,327,000	0	0	2,327,000	1,227,428
第4項 その他資本収入	0	0	0	0	0	0	0

支 出

区 分	予 算 額							決 算 額	
	当初予算額	補正予算額	予備費支出額	流用増減額	小 計	地方公営企業法第26条の規定による繰越額	継続費通次繰越額		合 計
第1款	円	円	円	円	円	円	円	円	
資本的支出	854,826,000	0	0	0	854,826,000	33,000,000	0	887,826,000	409,893,586
第1項 建設改良費	674,385,000	0	0	0	674,385,000	33,000,000	0	707,385,000	232,363,049
第2項 企業債償還金	179,441,000	0	0	0	179,441,000	0	0	179,441,000	177,530,537
第3項 予備費	1,000,000	0	0	0	1,000,000	0	0	1,000,000	0

資本的収入額(翌年度へ繰り越される支出の財源額25,231,000円を除く。)が資本的支出額に不足する額265,054,158円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額13,855,331円、過年度分損益勘定留保資金243,698,827円及び繰越工事資金7,500,000円で補てんした。

企業債償還金は借りたお金の返済のことかな。損益計算書に載っていないお金の支出が4億円以上もあるんだね。支出の方が2億円以上も大きいみたいだけど、このお金はどうするの？



5 補てん財源について

資本的収入と資本的支出の赤字を埋めることができるお金のことを「補てん財源」と呼びます。補てん財源の中には、減価償却費や除却費などの損益勘定留保資金と呼ばれるものなどがあります。

減価償却費が補てん財源として使える？
どういうこと？



減価償却費は資産価値の減った分を費用として計上するものだったわね。このお金は昔支払った建設費のうち、今年度分のみを計上しているだけだから、実際の現金の支出は無いよね。だから資本的収入と支出の赤字を埋めるために使えるのよ。

減価償却費は損益計算書に計上されている
→でも実際の現金の支出は無い
→赤字の穴埋めに使える というわけだね！



そうね。これとは逆に、長期前受金戻入は損益計算書に収益として計上されているけど、実際の現金の収入はないから、赤字の穴埋めに使えるお金から差し引いて計算するのよ。

6 貸借対照表とは

貸借対照表は、年度末時点に企業が保有するすべての資産、負債、資本を表示する報告書です。「資産の部」からは、企業が事業を行うために所有する資産の残高を知ることができます。

※ 合計
21,094,869,436
→償却対象の
有形固定資産の合計

合計
12,952,587,279
→有形固定資産の
減価償却累計額の合計

減価償却累計額？



過去に減価償却費として計上した費用を合計したもののよ。資産価値の減少額を表すから、マイナスで表示するのよ。



		資 産 の 部			
		円	円	円	円
1	固定資産				
(1)	有形固定資産				
	イ 土地		748,458,962		
	ロ 立木		37,749,747		
	ハ 建物	729,117,701			
	減価償却累計額	△ 350,985,948		378,131,753	
	ニ 構築物	15,232,610,547			
	減価償却累計額	△ 8,722,325,923		6,510,284,624	
	ホ 機械及び装置	5,123,103,353			
	減価償却累計額	△ 3,869,739,462		1,253,363,891	
	ヘ 工具器具及び備品	10,037,835			
	減価償却累計額	△ 9,535,946		501,889	
	ト 建設仮勘定		165,490,878		
	有形固定資産合計			9,093,981,744	
(2)	無形固定資産				
	イ 電話加入権		109,200		
	ロ 施設利用権		48,000,005		
	ハ ソフトウェア		4,566,900		
	無形固定資産合計			52,676,105	
	固定資産合計			9,146,657,849	
2	流動資産				
(1)	現金預金			2,141,568,549	
(2)	未収金		13,824,240		
	貸倒引当金		△ 798,260	13,025,980	
(3)	前払金			74,190,000	
	流動資産合計			2,228,784,529	
	資産合計			11,375,442,378	

有形固定資産の減価償却累計額を、償却対象の有形固定資産で割ると、「有形固定資産減価償却率」というものがわかるわ。これは「固定資産の減価償却がどれくらい進んでいるか」を表すのよ。この表では約61%ね。100%に近づくほど資産の老朽化が進んでいることを意味するのよ。

下水道管は「構築物」として計上されているみたいだね。ところで、この資産を作るお金はどうやって集めたのかな？





資産が「どれだけあるか」に対し、
負債と資本の部では「どうやってお金をあつめたか」がわかるのよ。



負債の部には企業債（借金）などが計上されるのね。

繰延収益ってなに？



資産をつくる時に国・県からもらった補助金や、工事負担金などのうち収益化せず将来へ「繰延べ」しているお金のことよ。



資本は、資本金や事業で獲得してきた利益などのお金ことね

		負債の部		
		円	円	円
3	固定負債			
(1)	企業債			
	イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,165,285,830	2,165,285,830	
(2)	引当金			
	イ 退職給付引当金	36,046,852	36,046,852	
	固定負債合計			2,201,332,682
4	流動負債			
(1)	企業債			
	イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	164,164,875	164,164,875	
(2)	未払金		131,540,459	
(3)	引当金			
	イ 賞与引当金	3,750,833		
	ロ 法定福利費引当金	745,530		
	引当金合計		4,496,363	
(4)	その他流動負債		15,191	
	流動負債合計			300,216,888
5	繰延収益			
(1)	長期前受金		10,236,824,138	
(2)	長期前受金収益化累計額		△ 6,459,594,108	
	繰延収益合計			3,777,230,030
	負債合計			6,278,779,600
		資本の部		
6	資本金			
(1)	資本金		3,828,528,447	
	資本金合計			3,828,528,447
7	剰余金			
(1)	資本剰余金			
	イ 国庫補助金	656,243,134		
	ロ 受贈財産評価額	6,334,349		
	資本剰余金合計		662,577,483	
(2)	利益剰余金			
	イ 減債積立金	457,380,084		
	ロ 建設改良積立金	93,422,711		
	ハ 当年度未処分利益剰余金	54,754,053		
	利益剰余金合計		605,556,848	
	剰余金合計			1,268,134,331
	資本合計			5,096,662,778
	負債資本合計			11,375,442,378

前のページの「資産合計」と「負債資本合計」はピッタリ一致しているんだね！

資産や負債のお金からわかることって何があるのかな？



すぐに支払う用意ができているお金（流動資産）を、すぐに支払う必要のあるお金（流動負債）で割ると、流動比率というものがあるのよ。この表では742%くらいね。200%以上が理想とされているのよ。高いほど経営が安定しているといえるわ。

7 キャッシュフロー計算書



キャッシュフロー計算書は、文字通りキャッシュ（お金）のフロー（流れ）を表す財務諸表よ。

損益計算書では経営成績がわかって、貸借対照表では保有する資産や負債などの状況がわかるんだよね。
これだけで経営状況はすべてわかるんじゃないの？



損益計算書や帳簿上は利益が出ていても、運転資金や手元のお金が足りなかったら、経営が厳しくなることだってあるのよ。
お金の出入りの理由を知ることによって、資金繰りの状況を明らかにして、経営の健全性を知ることができるのよ。

令和6年度長与町下水道事業キャッシュ・フロー計算書（間接法） （令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）

（単位 円）

1 業務活動によるキャッシュ・フロー

当年度純利益	54,754,053
減価償却費	465,671,129
固定資産除却費	7,197,851
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△ 40,751
賞与引当金の増減額（△は減少）	357,825
法定福利費引当金の増減額（△は減少）	59,385
長期前受金戻入額	△ 227,834,773
受取利息及び配当金	△ 779,281
支払利息及び企業債取扱諸費	33,140,221
未収金の増減額（△は増加）	355,226
未払金の増減額（△は減少）	1,309,573
前払金・前払費用の増減額（△は増加）	△ 59,190,000
その他流動負債の増減額（△は減少）	4,829
小計	275,005,287
受取利息及び配当金	779,281
支払利息及び企業債取扱諸費	△ 33,140,221
業務活動によるキャッシュ・フロー	242,644,347



業務活動によるキャッシュフローでは、「外部資金に頼らず本来の業務活動でどれくらいの資金を調達できたか」を表すものよ。
結果がプラスであることから、業務活動が良好であるといえるわね。

2 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出	△ 208,150,113
無形固定資産の取得による支出	△ 4,512,500
受益者負担金等による収入	1,227,428
未払金の増減額（△は減少）	58,756,082
未収金の増減額（△は増加）	6,060
国庫補助金等による収入	62,243,000

投資活動によるキャッシュ・フロー

△ 90,430,043



投資活動によるキャッシュフローでは、「固定資産の取得など、将来の設備投資にどれくらいの資金を支出したか」を表すものよ。主に資本的収支の内容が計上されているのよ。多くの下水道施設が多額の更新費用を必要とするから、マイナスの金額が大きいことは、積極的に投資を行っているということよ。

3 財務活動によるキャッシュ・フロー

建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	106,600,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 177,530,537

財務活動によるキャッシュ・フロー

△ 70,930,537



財務活動によるキャッシュフローでは、「業務活動・投資活動の維持のためにどれくらいの資金を調達・返済したか」を表すものよ。金額がマイナスということは、借りた金額よりも返した金額が大きかったということなので、望ましいことといえるのよ。

資金増加額（又は減少額）	81,283,767
資金期首残高	2,060,284,782
資金期末残高	2,141,568,549

資金増加額で「お金がいくら増えたか」がわかるのね。期首（年度初め）残高からお金が増えて、期末（年度末）残高になったわけね。



期末（年度末）の残高は、貸借対照表の現金預金の金額と一致しているわけだね。



8 下水道事業の概況について

長与町は、どれくらいの人が下水道を使って、
どれくらいの水が処理されているのかな？



ここからは、長与町の下水道事業が置かれている状況を見ていきましょう。

3 業務

(1) 業務量

年度 事項	令和6年度	令和5年度	比較	
			増減	比率
年度末水洗化人口	37,080 人	37,333 人	△ 253 人	99.3 %
年度末水洗化戸数	16,033 戸	15,943 戸	90 戸	100.6 %
年間総処理水量	3,404,639 m ³	3,427,232 m ³	△ 22,593 m ³	99.3 %
一日最大処理水量	10,311 m ³	10,830 m ³	△ 519 m ³	95.2 %
有収水量	3,348,723 m ³	3,381,582 m ³	△ 32,859 m ³	99.0 %
一日平均処理水量	9,328 m ³	9,364 m ³	△ 36 m ³	99.6 %
処理面積	816.99 ha	814.20 ha	2.79 ha	100.3 %



水洗化人口は、下水道を使用している人口のことで、
前年度から253人減ってしまったみたいね。

年間総処理水量っていうのはなに？



処理場（浄化センター）できれいにした汚水の量を合計したものよ。
水洗化人口で割ると、1人当たり年間約92m³、1日約0.25m³ということになるわね。

0.25m³ってどれくらいの量なのかな？



1m³は1,000リットルと同じって聞いたことがあるわ。
1人、1日約250リットルの生活排水を下水道に流している計算になるわね。思ったよりたくさんのお水を使っているのね！



長与町の浄化センター



ぼくたちがお風呂や洗濯などで使った生活排水が、浄化センターに流れてくるんだね。
1日最大10,300m³もの量をきれいにしてるんだね！



きれいな水にして海に流すための機械や設備がたくさん！



この機械設備を維持する費用もたくさんかかりそうだね。
収入と費用の金額は前年度と比べてどうだったんだろう？



(2) 事業収入に関する事項

年度 区分	令和6年度		令和5年度		比較 金額
	金額	率	金額	率	
下水道事業収益	923,965,750	100	923,724,013	100	241,737
営業収益	595,192,674	64	599,743,615	65	△ 4,550,941
営業外収益	328,641,307	36	323,668,612	35	4,972,695
特別利益	131,769	0	311,786	0	△ 180,017

(3) 事業費に関する事項

年度 区分	令和6年度		令和5年度		比較 金額
	金額	率	金額	率	
下水道事業費用	869,211,697	100	860,301,302	100	8,910,395
営業費用	829,518,768	95	815,092,874	95	14,425,894
営業外費用	39,385,849	5	44,926,108	5	△ 5,540,259
特別損失	307,080	0	282,320	0	24,760

	令和6年度	令和5年度	比較
当年度純利益	54,754,053	63,422,711	-8,668,658



水洗化人口の減少により、営業収益は約455万円下がっているわね。
費用は前年度より約891万円上がっていて、
当年度純利益は約867万円減少しているわ。

人口減少で使う人が減ってしまうと、
下水道使用料の収入も減っちゃうのね。



長与町にある下水道管を全部繋げると、
どれくらいの長さになるのかな？



約190キロよ。道路にすると長与町から福岡県までいけるわね。



下水道管は作ったきりで放置しちゃうと、管が潰れて道路が陥没する事故などに繋がってしまうから、改築や更新が必要なのよ。マンホール蓋やポンプ施設についてもたくさんの工事を行うのよ。

2 工事

(1) 改良工事の概況

工事名	本年度施工内容		本年度工事費	工事費の区分		着工	竣工	備考
			円	円	年月日	年月日		
1 長与ニュータウン東地区取付管改築工事(公共)	取付管改築工事	N=82箇所	41,200,500	単独	41,200,500	R6.5.31	R7.3.26	株長与管工設備工業所
2 高田地区(高田南)汚水管布設工事(公共)	汚水管布設工事	VUφ200mm L=7.00m PEφ75mm L=312.86m 2号マンホール N=1基	17,193,000	補助 単独	16,868,500 324,500	R6.6.3	R6.11.25	株高谷
3 長与ニュータウン西地区取付管改築工事(公共)	取付管改築工事	N=81箇所	39,638,500	単独	39,638,500	R6.6.6	R6.12.27	藤和建设株
4 長与浄化センター1号汚水ポンプ更新工事(公共)	長与浄化センターポンプ更新工事	N=1台	7,810,000	単独	7,810,000	R6.7.1	R7.3.27	株協環
5 馬込No.1マンホールポンプ場ポンプ更新工事(特環)	マンホールポンプ場ポンプ更新工事	N=2台	6,160,000	単独	6,160,000	R6.8.9	R7.2.25	株協環
6 高田南マンホールポンプ場制御盤更新工事(公共)	マンホールポンプ場制御盤更新工事	N=1面	7,480,000	単独	7,480,000	R6.9.25	R7.3.27	協和機電工業株
7 高田地区(高田南)マンホールポンプ場設置工事(公共)	マンホールポンプ場設置工事	汚水ポンプ N=2台 制御盤 N=1面 投込圧力式水位計 N=1個	17,084,100	補助 単独	10,931,500 6,152,600	R6.9.25	R7.3.27	協和機電工業株

人口減少の問題と、たくさんの施設更新費用。
課題がたくさんあるのね。



そうね。だから、長い視点で将来を見据える必要があるのよ。
施設の点検や調査などを行って、優先順位を付けてから必要な改築工事を行うための「ストックマネジメント」と呼ばれる計画に沿って、今後も効率的な工事を進めていくのよ。



下水道はみんなが使うものだから、お金がなくて新しいものができなくなると困っちゃうな。これからもずっと事業が続けられるように、みんなで考えていきたいね！



